

認定校だより

公立大学法人 前橋工科大学 (Maebashi Institute of Technology)

前橋工科大学について

本学は、1952年4月に前身の前橋市立工業短期大学として開校し、2013年4月に公立大学法人に移行しました。設置団体は前橋市で、地域に根ざす公立大学として人とまちの快適さを推進する学群を構成し、地域の人々や産業界と連携しながら、住民の生命と健康の増進、安全で安心できる環境の形成、豊かな文化の発展を目指し、人とまちづくり、さらには地元産業の発展に貢献しています。



前橋工科大学ウェブページ
<https://www.maebashi-it.ac.jp/>

建築都市プログラム (旧建築学科) について

2022年4月からは学科改編(建築・都市・環境工学群、情報・生命工学群)により、1年次は工学基礎科目を中心に、2年次以降に専門科目を履修します。また旧建築学科は建築都市プログラムという名称に代わりました。建築都市プログラムでは、単に建築物だけでなく、人間生活を成り立たせる様々な建築的要因について、工学的、環境的、美学的、さらに社会的視点から取り組み、今後の持続的社会の建築の存在意義とその表現を追求する知識を修得します。建築と都市のデザインや建設から、維持・運営等のマネジメントを展開できる設計者と技術者を育成します。

授業「建築マネジメント／建築積算」について

① 受講学生

建築都市プログラム2年生を対象に「建築マネジメント」、建築学科3年生を対象に「建築積算」の講義があり、その中で建築積算の授業を行っていますが、令和6年度後期授業では、45人の学生が履修しています。

② 授業の目標

建築マネジメントと建築事業のマネジメントプロセスを概説し、すべての建築工事費算定の基礎である「建築積算」手法について、建築数量積算基準に基づいた数量積算による工事費算定方法を学んでいます。さらに、建築積算の流れとその基礎の習得を通じて、コストマネジメントへの理解を深め、これから活躍できる領域を展望するとともに、LCC、VE、CMやFMなど、関連するマネジメントへの理解を深めることを目指しています。

③ 授業の構成

15回ある講義のうち、10回を建築積算からの視点、3回を建築マネジメントからの視点で講義を行っています。建築の勉強を始めて1年半という学生がほとんどですので、テキスト「建築積算」を中心に、スライドでイラスト付きの解説を行い、まずはイメージをつかんでもらうことに重点を置いています。また、建築積算業務にたずさわる講師や、建築マネジメントにたずさわる講師をお招きして、実務として「建築積算」や「コスト」、「マネジメント」を経験している立場から、経験談や業務で苦労したこと、アドバイスなどをお話いただいています。

1年次	2年次	3年次	4年次		
教養基礎科目					
学群共通科目			卒業研究		
工学基礎科目	専門科目				
工学基礎科目 技術者倫理 環境エネルギー概論 地域文化論 ものづくり概論 データサイエンス概論	建築都市プログラム				
学群共通科目 建築・都市・環境工学概論I 建築・都市・環境工学概論II 環境の科学 図学デザイン 構造力学基礎 情報処理技術概論	学群共通科目 循環システム工学 デザイン史I 情報メディアデザイン 空間造形基礎 人間工学基礎 景観・環境基礎論 建設産業と生産 計画数理 生活空間デザイン基礎 プロダクトデザイン基礎	建築設計基礎 建築設計I 建築計画I・II 建築史I 都市デザイン 建築環境工学I・II 建築材料 建築構造力学I・II 鉄筋コンクリート構造I 鋼構造I パウビオロジーI・II 建築構法 建築構造計画 建築マネジメント 他	建築設計II・III 建築設備I・II 都市環境計画I・II 建築計画実験 建築環境実験 建築構造実験 建築史II 建築計画III 環境デザイン 空気環境学	建築音響学 建築法規 建築構造力学III 鉄筋コンクリート構造II 鋼構造II 耐震工学 建築施工 建築インターンシップ 他	建築設計IV 建築計画特論 建築環境特論 建築構造特論 ランドスケープ特論 卒業研究

建築都市プログラムの現行カリキュラム
 ※赤枠内「建築マネジメント」で建築積算の授業を実施

公立大学法人 前橋工科大学

〒371-0816 群馬県前橋市上佐鳥町 460 番地 1

TEL 027-265-0111 FAX 027-265-3837

URL <https://www.maebashi-it.ac.jp/>